



高岡市から発信する「夏を楽しむエコライフ」について

1 目的

東日本大震災と原子力発電所の事故をきっかけに、全国では電力需要が高まるこれからの時期に、様々な省エネ、節電の取り組みが行われている。

このような社会背景に呼応し、高岡市でも節電対策に取り組むものであり、「歴史都市」を目指す本市ならではの発想で、昔の暮らしの良さを再認識した過ごし方で暑い夏を楽しく乗り切る「夏を楽しむエコライフ」を推奨する。

そのために、本日、市のホームページで「夏を楽しむエコライフ」を掲載し、モデルとなる取り組み等も順次紹介し、市民の皆様幅広く周知するとともに、この環が大きく広がっていくことを期待するものである。

2 市の取り組み

- ・職員への省エネ、節電に関する周知徹底

「ノーマイカーデー・リフレッシュデー（ノー残業デー）」、「節電」に関する周知徹底

【7月11日】

- ・うちわ・「高岡銅器」の風鈴の設置【6月27日・7月4日】
- ・本庁舎・福岡庁舎前にグリーンカーテン設置【6月～】
- ・庁舎内の温度設定を28℃、執務室等の照明の間引き、冷蔵庫等の大幅削減など実施済み

3 市民への呼びかけと実践例

昔ながらの涼み方を自治会や幼稚園・保育園等を通じ、地域や家庭にも広がるよう働きかけている。

(1) 打水

- ・こぼと幼稚園夏祭りで、打水体験実施【7月2日】
- ・二塚保育園「園児による手作り七夕のつどい」（万葉線本社前）で打水体験実施予定【7月28日】

(2) グリーンカーテン

福岡地区の商業協同組合や地域自治会連合会等が地域住民に呼びかけ、18箇所グリーンカーテンを育成中

4 事業者への呼びかけと実践例

地場産業団体や商工会議所に「夏を楽しむエコライフ」の取り組みを紹介し、市内事業所への呼びかけを行っている。

- ・高岡銅器協同組合と中学生の連携による高岡駅ホームへの風鈴設置【7月12日】
志貴野中学校生徒らが、定塚小学校、下関小学校児童が作成した風鈴短冊メッセージを、駅ホームやタクシーブースに飾り付ける。
- ・万葉線電車内に風鈴を設置【6月22日～9月末】
利用者に涼を提供するとともに高岡の地場産品を紹介する。
- ・グリーンカーテン実証モデル事業
市内9事業所でグリーンカーテンを育成中【4月～】
市ホームページで生育状況等を紹介【6月22日～】
- ・「えこりんフェア」を高岡地場産業センターとD.frontで同時開催【7月10日～】
地場産品を組み合わせ、エコと涼しさの知恵を取り入れた「凜とした暮らし」の企画展示・即売（約100種類）

23年夏 高岡市から発信します

～ 夏を楽しむエコライフ～

本市では、東日本大震災を教訓に、電力需要が高まる夏季に向けて、地球温暖化対策にもつながる節電アクションを市民の皆様呼びかけています。ご家庭や職場でも、節電にご協力をお願いいたします。

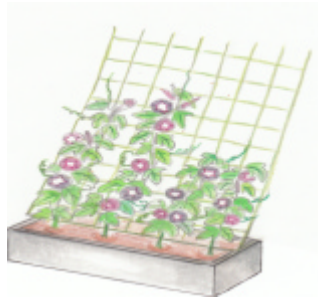
また、これを機に「長い歴史の中で培われた伝統と文化のまち」高岡から、昔の暮らしの良さを再認識する「夏を楽しむエコライフ」を発信します。

この取り組みの環が大きく広がるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

取り組みメニュー

グリーンカーテン

アサガオやゴーヤなどの「グリーンカーテン」を作り、緑や涼を楽しみましょう。



風鈴・うちわ

高岡銅器の「風鈴」や、「うちわ」を利用して、涼感を演出しましょう。



打ち水

夕方の「打ち水」で暑さを和らげましょう。



すだれ・よしず

「すだれ・よしず」を利用して、夏の風情を楽しみましょう。



お香

「お香」を活用して、快適な室内空間を創出しましょう。



皆さん、1つでも2つでも
取り組んでみましょう。



熱中症に気をつけてください。